

Japan River Restoration Network News Letter

発行：日本河川・流域再生
ネットワーク事務局

〒102-0082
東京都千代田区一番町8番地
一番町FSビル3階
財団法人 リバーフロント整備センター内
Tel : 03-6032-7121
Fax: 03-6032-7456
E-mail: info@a-rr.net
URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

巻頭書記

日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）の活動も二年目に突入しました。これまでの1年間を振り返ってみると、ホームページの更新や国内外での講演会・PR活動など、徐々にではありますが活動の幅も広がってきた気がします。引き続き河川再生

に関する情報と人の循環を目指した活動を実施して参りますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。本ニューズレターでは、ARRN/JRRNの最新の活動内容及び河川再生に関連する情報や取組みなどをご紹介します。

活動報告(1)

「第4回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」開催報告

2007年11月30日（金）アジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）主催「第4回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」が開催され、多くの方々にご参加いただきました。

第4回目を迎えた今回のフォーラムでは、都市の発展と水辺の再生に着目し、はじめに、隅田川における河川再生について東京都建設局河川部計画課長島課長よりご講演を頂きました。



来賓挨拶（国土交通省河川局河川環境課 中嶋課長）



特別講演（東京都建設局河川部計画課 長島課長）

続いて、海外事例紹介として、韓国、中国、タイ、イギリスにおける河川再生に関する話題や事例が紹介され、会場の参加者からも複数の質問がなされました。

< 講演内容 >

韓国：韓国の河川再生プロジェクト

中国：長江における“四大家魚”産卵環境再生について

タイ：タイの河川・湿地再生に関する取組み

イギリス：ヨーロッパの河川再生に向けた政策と情報交換



パネルディスカッションの様子

今回講演頂いた方々と今後も密に情報交換を行いながら、ARRN/JRRN としてアジアにおける河川再生の情報と人の循環に寄与していきたいと思えます。



各国の事例紹介の様子

また、事例紹介の後に開催された総合討論では、玉井 ARRN 会長を座長に「街づくりと河川の保全・再生」をテーマとした意見交換が行われ、今後のARRN の活動に有意義な意見を多数いただきました。



国際フォーラム終了後の記念撮影

本講演の為に来日頂きました各国講師の方々感謝するとともに、会場にお越し頂いた方々にも御礼を申し上げます。

URL: <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/eventreport/376.html>

上記ホームページより講演資料がダウンロード可能です。

活動報告(2)

ARRN 事務局としての技術交流・PR 活動報告

アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)設立後の2年間は、JRRN がその事務局を担っており、ARRN の PR 活動やアジアの河川に関する組織との技術・人的交流なども JRRN 事務局の役割の一つです。11月に実施した活動として、海外での学会活動を通じたARRN の PR を1件、また国外組織への河川事業全般に関わる人的交流活動を2件報告致します。

韓国・Joong Bu 大学の東京近辺現地視察支援
2007年11月6日、韓国 JOONGBU 大学土木工学科の学生グループが来日し、JRRN 事務局スタッフが東京周辺の河川に関する施設を案内しました。併せて、ARRN/JRRN の活動概要も紹介し、日本の河川再生に関する取り組みの PR を行いました。



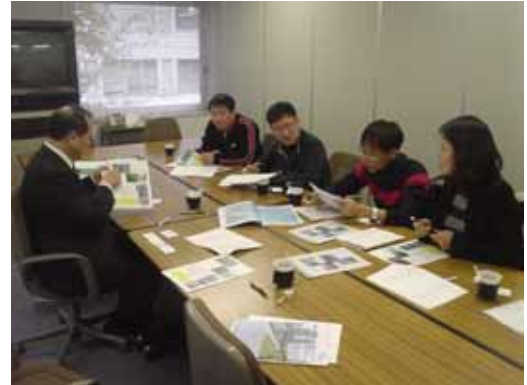
首都圏外郭放水路にて

世界工学会議（インド）でのARRNのPR活動

2007年11月11日（日）～16日（金）にかけてインド・ニューデリーを会場に世界工学会年次講演会（WFEO World Congress）が開催され、Quality of Urban lifeに関する専門分科会においてARRNの活動を紹介しました。

韓国・東豆川市視察団との意見交換

2007年11月29日に韓国東豆川市の河川再生に関わる視察団との意見交換会を行いました。東豆川市では河川の親水整備の事例収集を行っており、JRRN事務局より日本の河川再生の歴史や事例を説明すると共に、日中韓を中心に進めているARRNの活動についても紹介させて頂きました。



意見交換会の様子（東京）

活動報告(3)

ARRN/JRRN 年次報告書「Annual Report 2007」完成

ARRN及びJRRNの設立後一年間の活動内容を取りまとめたARRN年次報告書「Annual Report 2007」が完成致しました。この年次報告書では、ARRNの概要説明とともに、設立時に開催された運営会議の結果報告、設立式典の様子、また一年間の様々なARRN、JRRNの活動実績が写真と共に整理されています。



ARRN Annual Report 2007

<主な構成>

- 1.アジア河川・再生ネットワーク（ARRN）の概要
- 2.第1回 ARRN 運営会議（2006年11月8日）
- 3.ARRN 設立式典（2006年11月9日）
- 4.ARRNの主な活動
 - 1)活動の概要
 - 2)国際フォーラム
 - 3)ワークショップ
 - 4)ホームページ
 - 5)ニューズレター
 - 6)ニュースメール
 - 7)河川・流域再生に関するガイドライン構築
 - 8)ARRNの広報活動
 - 9)有識者会議 / 事前会議
 - 10)その他
- 5.ARRN 会員情報

URL: <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/annualreport/379.html>

上記ホームページより「年次報告書 2007」がダウンロード可能です。

活動報告(4)

第1回アジア・太平洋水サミットのオープン行事参加報告

2007年12月3日～4日にかけて、第1回アジア・太平洋水サミットが大分県別府市で開催されました。

サミットには、皇太子殿下、オランダ王国ウィレム・アレキサンダー皇太子殿下、福田康夫内閣総理大臣、森喜朗会長（元首相）をはじめ、56の国・地域の首脳級の方々が参加され、皇太子殿下による基調講演では、調査データに基づいたアジア・太平洋地域の水問題に関する講演が行われました。



開会式での森喜朗会長（元首相）のご挨拶

本サミットに併せて開催された河川環境に関するオープン行事の参加報告を以下に紹介させていただきます。

（1）河川環境と水資源を考えるシンポジウム

12月2日に、「河川環境と水資源を考えるシンポジウム」実行委員会主催のシンポジウムに、ARRNの第4回国際フォーラムの講師として招聘した韓国建設交通部河川計画課課長のキム サクヒョン氏がパネリストとして参加をしました。

オープニングリマークとして北九州市立いのちのたび博物館館長の小野氏から、アジア・太平洋地域の水問題に関する話題提供がありました。

基調講演では、1)日本の水資源政策と河川生態系、2)環境を考慮した河川整備、3)世界と日本の水：現状と将来展望と題し、水問題の現状、水資源のあり方に関して触れられた後、わが国の河川整備と保全の取組について紹介がありました。

総括討議では、キム サクヒョン氏とチェック ワルジョ スビヤント氏からそれぞれの国の河川整備の取組みと、国際的な見地でのアジア・太平洋諸国における水資源の確保と環境調和について述べられました。



総合討議（韓国 キム サクヒョン氏）

（2）生態系と発展のための水～日本の経験とアジア・太平洋地域での展開

12月4日に「生態系と発展のための水」日本の経験とアジア・太平洋地域での展開実行委員会主催の講演会に、ARRNの韓国支部の事務局を務めている韓国建設技術研究院のキム チャンワン氏が講演者として参加をしました。

韓国の河川再生プロジェクトを具体的事例に挙げながら紹介しました。



講演の様子（韓国 キム チャンワン氏）

会議・イベント等 (2008年1月)

(ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

ARRN/JRRN に関するイベント情報はありません。

(その他の河川再生に関する主なイベント)

地球温暖化と再生水利用シンポジウム

日時：平成 20 年 1 月 18 日 (金) 14:00 ~ 17:00

会場：科学技術館 サイエンスホール

主催：国土交通省 他

参加費：無料

詳細情報：以下のホームページをご参照ください。

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/387.html>

第 116 回河川文化を語る会～河川の生態系と漁業について

日時：平成 20 年 1 月 21 日 (月) 18:00 ~ 20:00

会場：厚生会館 (全国土木建築健保)

主催：日本河川協会

<http://www.a-rr.net/jp/event/04/375.html>

第 13 回全国水の郷サミット

日時：平成 20 年 1 月 25 日 (金) 13:00 ~ 18:00

会場：国土交通省 (中央合同庁舎 2 号館) 地下講堂

主催：国土交通省

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/386.html>

冊子・ビデオ等の紹介

水辺のミュージアム (2007.9)

- ・発行：(財)リバーフロント整備センター
- ・価格：無料



全国の「水辺」にかかわる資料館・博物館の中から、特色のあるものを紹介した冊子が発行されました。一見して捉えにくい水辺の魅力や展示方法をわかりやすく紹介していますので、川の本質を知る上で

参考になります。

本書をご希望される方は、「(財)リバーフロント整備センター技術普及部」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。

電話：03-3265-7121 / Fax：03-3265-7456

多自然型川づくりを越えて (2007.4)

- ・著者：妹尾優二、吉村伸一、吉川勝秀
- ・出版社：学芸出版社 (2007/04)
- ・価格：¥3,360 (税込)



多自然型工法誕生から 15 年を経て、生態系への理解や現場の技術者の育成など多くの課題が山積しているなかで、実践を踏まえた多自然型川づくりの基本をまとめ、さらに

自然と共生し、都市・地域の軸となる「空間としての川づくり」を提案しています。

事務局からのお知らせ

JRRN が設立して 1 年を迎えました。JRRN として今後も様々な活動を展開していきますので、まだご加入でない方は、是非 JRRN にご加入下さい。会員資格は下記の通りです。

JRRN の登録資格

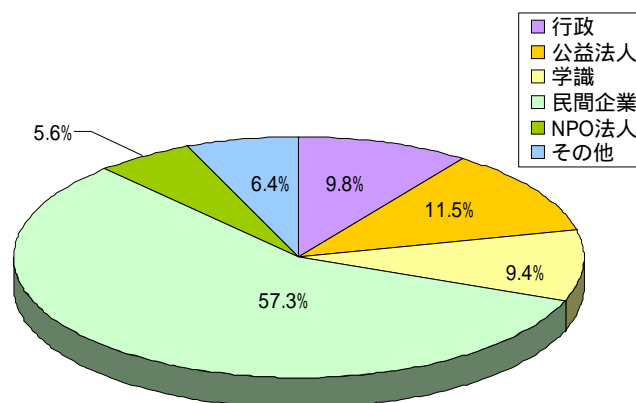
JRRN への登録は、個人、団体を問わず無料です。

行政、民間団体、NPO、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、積極的に河川環境の整備改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

会員の特典

会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) ニュースレターによる国内外の河川再生情報が配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川整備事例の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信可能となります。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。



2007 年 12 月 28 日時点の会員構成

JRRN 事務局

(財)リバーフロント整備センター 技術普及部

問い合わせ先

財団法人リバーフロント整備センター 技術普及部
東京都千代田区一番町 8 番地 一番町 FS ビル
Tel: 03-3265-7121 Fax: 03-3265-7456
E-mail: info@a-rr.net
URL: <http://www.a-rr.net/jp/>